



沼中だより

学校教育目標：「個」・「心」・「力」

5月号

2024年5月14日発行

逗子市立沼間中学校

校長 熊谷 啓明

○今回は各学年の様子をお伝えします○

<3年>

最高学年としての年度が始動してから早一カ月が経ちました。5月に生徒総会、修学旅行、6月上旬に体育祭が迫っていることもあって、37期生は学校の中心となって日々動いている様子がうかがえます。

4月の特別時間割では体育祭に向けての長縄跳びを行いました。全学年で試技を行ったこともあって、気合十分に跳んでいる姿が見られました。「さすが三年生！」。

委員会活動では、“挑戦”が見て取れました。委員会ごとに新しいことをやってみようとする挑戦だったり、委員会に初チャレンジする姿だったり。ワクワクします。

今一番待ち遠しい修学旅行。今回は全教科でミッションが出され、それを班で協力しながら京都・奈良で班別行動を行ってもらいます。もちろんミッション以外にも自分たちで決めたテーマに沿って行動場所を決め、それぞれ楽しそうに活動している姿が見られました。当日が待ち遠しいです。

4月からよいスタートダッシュができていないのでしょうか。沼間中学校生活最後の1年間はよりよいものにしてもらえたらと思っています。
(3学年代表 山田 智昭)

<2年>

新年度が始まり、2年生としての学校生活がスタートしました。最初の学年集会でのみんなの表情から、「先輩になるんだ」という少しの緊張と期待が、みなさんの表情から伝わってきました。これまで引っ張ってもらっていた立場から、今度は自分たちが誰かのお手本となる立場へ。そんな意識の変化も大切に感じながら、成長の糧にして頑張りたいと願っています。

4月末には、学年協さんたちが中心となって学年レクリエーションを企画・運営してくれました。当日は、クラス対抗クイズ大会やワードウルフ、うすのろまぬけなどの活動を通して、クラスの垣根を越

えた笑顔あふれる、あたたかな時間となりました。「楽しかった！」「忙しい中準備が大変だったけど、みんなで盛り上がれてうれしかった」といった声も聞かれ、今後も 2 年生としての絆が少しずつ深められるようみんなで協力して色々なレクを考えていきましょう。

一人ひとりが自分のペースで、「2 年生として頑張る」気持ちを胸に、小さな一歩を大切にしてほしいと思います。そしてその一歩が、仲間と支え合いながら前に進む力になっていくことを、心から願っています。

(2学年代表 清水 理紗)



<1年>

新しい学校生活が始まり、早いもので 4 月が過ぎ去り、ゴールデンウィークも明けました。この 1 ヶ月半、1 年生は新しい生活に挑戦し、素晴らしい成長を見せてくれました。4 月の始まりには、初々しく輝く姿が印象的でした。新しい友達との出会いや、未知の環境に対するドキドキとともに、希望に満ちた表情が見られました。少しずつ学校生活にも慣れてきた皆さんですが、時折、甘い部分が見え隠れすることもあります。時間を意識して行動すること、話をしっかりと聞く姿勢、給食の準備や片付けにおけるマナー、そして「ちくちく言葉」の重要性など、これからの成長に向けて直していくべき課題も見えてきました。

けれども、頑張っている姿には目を見張るものがあります。一緒に過ごす中で、皆さんが持っている個性や頑張りが、1つの学年を作り上げていきます。「1 年生、頑張ってるね！」と見てくれている方もいて嬉しく思っています。1人ひとりが協力し、支え合いながら成長していきましょう。

学年職員も、皆さんの成長を見守り、サポートしていきます。これからも楽しく、時には厳しく、一緒に学びながら、素敵な学年を築いていきましょう。

(1学年代表 平元 遼一)